

成田空港にIoTを活用した“最先端のおもてなしトイレ空間” 「experience TOTO」、4月3日(水)オープン ～入国最初のトイレで、訪日外国人の「ウォシュレット※1」体験促進～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:喜多村 円)がプロデュースするIoTを活用した“最先端のおもてなしトイレ空間”、「experience TOTO(エクスペリエンス・トートー)」が成田国際空港第1ターミナルビル南ウイング1階(到着ロビー)に2019年4月3日(水)オープンします。

TOTOは中期経営計画「TOTO WILL2022」で「日本を世界のショールームに」を掲げ、パブリックトイレの充実をめざしています。「experience TOTO」は、TOTOと成田国際空港のコラボレーションにより、入国最初のトイレで温水洗浄便座「ウォシュレット」に代表される“日本のきれいなトイレ文化”を訪日外国人の方々に体験いただくことを目的に開設します。TOTOの最新のパブリックトイレ商品群や建材の採用はもちろん、TOTOが30年前より取り組んできたパブリックトイレの提案活動※2の知見がプランニングに織り込まれています。なお、成田国際空港とTOTOのコラボレーションによるトイレ空間は、第2ターミナルビルに「GALLERY TOTO」を2015年4月に開設して以来、2件目となります。



「experience TOTO」外観 ※イメージ
4枚の液晶パネルの映像で興味喚起し、訪日外国人をトイレへ誘引



タブレットリモコン ※開発中の画面
5言語対応、使い方の説明で、「ウォシュレット」体験促進

「experience TOTO」では、訪日外国人の方々の「ウォシュレット」体験促進をめざした2つの取組みを実施します。1つは、トイレ外側の正面壁面(ファサード)に設置した大型液晶パネルに投影する映像、もう1つはNTT東日本・バカン※3・TOTOの共同企画による、「experience TOTO」専用の「タブレットリモコン」の導入です。大型液晶パネルの映像でトイレへ誘引し、タブレットリモコンでは5言語対応による使用方法の説明に加え、「ウォシュレット」体験を誘引する動画も流し、入国最初のトイレで訪日外国人の方々に「ウォシュレット」を体験していただけるよう働きかけます。

IoTを活用したトイレ混雑状況の情報提供やトイレ器具の効果的な維持・管理の提案にも取組みます。NTT東日本・バカン・TOTOの共同企画により、トイレブースの使用状況および行列状況をトイレ入口両脇に設置した液晶パネルにリアルタイムに表示し、トイレを使われる方々の利便性向上をめざします。また、KDDI・TOTOの共同企画により、「experience TOTO」に設置したトイレ器具の使用状況をモニタリングしてメンテナンスに有効な情報を見える化し、パブリックトイレの維持・管理の効率化に貢献します。

多機能トイレの音声ガイド機能も導入します。多機能トイレに不慣れな訪日外国人にも、ストレスなく安心してお使いいただけることをめざし、入室後に選択された言語(4言語対応)で、位置に応じた音声ガイドを流します。

TOTOは、入国最初のトイレ「experience TOTO」で“日本のきれいなトイレ文化”、さらに「ウォシュレット」を訪日外国人の方々に体験いただき、日本各所で「ウォシュレット」を使用いただきたいと考えています。TOTOは今後も、訪日外国人を含めた一人でも多くの方々に使いやすいパブリックトイレをめざして、ものづくり、ことづくり(提案活動)の両面で取り組んでまいります。

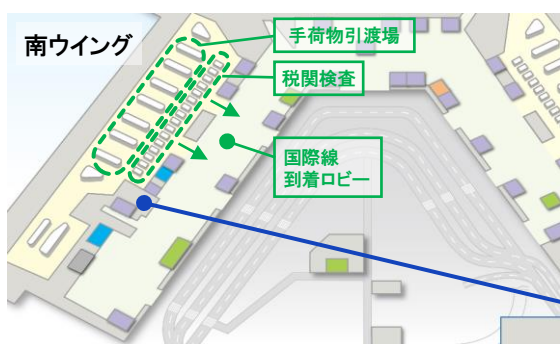
「experience TOTO」のウェブサイト <https://www.toto.com/jp/experiencetoto/>

※1:「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です ※2:TOTOは、パブリックトイレの提案活動の専任部署「プレゼンテーション部」を1989年に設置しています ※3:バカン(所在地:東京都千代田区、社長:河野 剛進)は、“いま空いているか1秒でわかる優しい世界。”の実現をめざし設立されたスタートアップ企業

「experience TOTO」概要

名称	experience TOTO (読み: エクスペリエンス・トートー)
所在地	成田国際空港第1ターミナルビル 南ウイング 1階 (国際線到着ロビー)
規模	約150m ² 多機能トイレ=2室/授乳室=1室/女性=個室7室、洗面5台、スタイリングコーナー 男性=個室4室、小便器5台、洗面5台、スタイリングコーナー
主な設置器具	大便器=壁掛大便器セット・フラッシュタンク式/便座=ウォッシュレットアプリコットP 小便器=マイクロ波センサー壁掛小便器セット(ターゲットマーク(LED)あり) 洗面=ツインデッキカウンター(ポウル一体タイプ)+クリーンドライ 多機能トイレ=フラットカウンター多機能トイレパック 壁材=ハイドロソリッド/小便器下床材=ハイドロセラ・フロアPU
オープン	2019年4月3日

「experience TOTO」設置場所



図版提供: 成田国際空港株式会社

「experience TOTO」は、成田国際空港第1ターミナルビル南ウイング1階、国際線到着ロビーに面した既存トイレを改修して設置されます。南ウイングから入国した訪日外国人の方々が、最初に使用できるトイレです。

「experience TOTO」の主な特長

トイレ正面壁面の大型液晶パネル

トイレ正面壁面には、縦長の液晶パネル4枚をインテリアの一部として溶け込むように配置し、4枚で1つとなる映像を流すことで、1枚の大型液晶パネル以上のインパクトをもたらします。

「水」をテーマとした上質で快適なトイレ空間をイメージさせる映像をベースに、“おしりを洗う気持ちよさ”を表現したポップな映像などを投影し、空港に到着した訪日外国人の方々が「experience TOTO」に興味をもって立ち寄りたくなるような演出をします。





水のゆらめきを表現した映像 ※制作中の動画



「ウォシュレット」の洗浄水流をイメージした映像 ※制作中の動画

タブレットリモコン(試験導入) ※NTT 東日本・バカン・TOTO 共同企画

温水洗浄便座「ウォシュレット」の操作リモコンとして、NTT 東日本・バカン・TOTO の共同企画による「experience TOTO」専用の「タブレットリモコン」を試験導入します。

従来のボタン式のリモコンでは日本語と英語の 2 言語対応でしたが、タブレット化により日本語・英語・簡体字中国語・繁体字中国語・韓国語の 5 言語に対応します。

また、操作パネルはタブレット画面の下半分に納め、上半分のインフォメーションスペースをつかって「ウォシュレット」未経験の訪日外国人の方々へ、わかりやすく、楽しく「ウォシュレット」を体験いただくための情報や動画を流します。

操作パネルの「使い方」をタッチすると、「おしり」「ビデ」「音姫^{※4}」「ノズルきれい」のメニューが表示され、それぞれの機能をわかりやすく説明します。また、入室時には「おしりを洗うことの気持ちよさ」を伝える動画を、「おしり」などの機能を使うと「ありがとう」のメッセージを伝える動画を、ポップなイラストアニメーションで流します。

※4:「音姫」は TOTO 株式会社の登録商標です



スタート画面: 言語選択ボタンを強調



5 言語から選択



言語選択後の基本画面(簡体字中国語)



使用方法: 4 つの機能を説明



「おしり」洗浄の使い方の説明



「おしりを洗うのは手を洗うのと同じ」と訴求



「ウォシュレット」体験促進動画



最後は「Let's Wash(さあ、洗いましょう)」

※全て開発中の画面です

<IoT 活用> トイレの混雑状況の表示 ※NTT 東日本・バカン・TOTO 共同企画

NTT 東日本・バカン・TOTO の共同企画により、IoT を活用してトイレブースの使用状況および行列状況をトイレ入口両脇に設置した液晶パネルにリアルタイムに表示し、トイレを利用される方々の利便性向上をめざします。

トイレブースのドアに設置したセンサーと行列状況を検知する解析技術によりトイレ使用状況を把握し、クラウドを介して、空室／混雑状況および行列発生状況を液晶パネルに 5 言語（英語・簡体字中国語・繁体字中国語・韓国語・日本語）で表示します。



<IoT 活用> トイレ器具のモニタリング(試験導入) ※KDDI・TOTO 共同企画

KDDI・TOTO の共同企画により、「experience TOTO」に設置したトイレ器具のセンサー情報や ON/OFF 情報をクラウドを介してモニタリングし、トイレの利用実態や消耗品の残量などを把握する IoT を活用したシステムを試験導入します。

得られた情報を「清掃管理」「設備管理」の 2 つに整理して見える化することにより、各トイレ器具の利用頻度や、トイレブースの長期滞在、水石けんの残量などを遠隔で把握することができるため、清掃・補充の最適化や安全管理に貢献できると考えています。

多機能トイレに音声ガイド機能(試験導入)

大便器以外にさまざまなトイレ器具がある多機能トイレは、不慣れな訪日外国人の方々が多く、またトイレ習慣の違いから、使い方が分かりづらいといった課題があります。

こうした課題解決をめざし、「experience TOTO」の多機能トイレおよび車いす使用者優先トイレに音声ガイド機能を試験導入します。入室後に言語（英語・中国語・韓国語・日本語の 4 言語）を選択した後、便座へ座る／便座から離れるなど、位置に応じた音声ガイドを流し、利用者にストレスなく安心してお使いいただける、おもてなし空間を提供します。

おもてなしのプランニング

TOTOが30年前より取り組んできたパブリックトイレの提案活動の知見を活かした“おもてなし”のプランニング。近年のパブリックトイレでの課題である“多機能トイレへの利用集中”解消を目的とした「機能分散」や、女性トイレの混雑緩和と快適性向上のための「洗面とスタイリングコーナーの分離」、男性小用時のプライバシー配慮のための「小便器間の仕切り」など、ひとりでも多くの方が快適に使用できるような細やかな配慮を随所に尽くしています。

オストメイト配慮ブース、乳幼児連れ配慮ブースの設置

多機能トイレの混雑緩和のため、オストメイト対応器具やベビーシートなどの機能は分散して配置しています。

ゆとりある大便器ブースの広さ

全ての大便器ブースは、スーツケースでも入りやすい広さを確保しています。また、手すりも全ブースに完備しています。

洗面とスタイリングを分離し、混雑緩和と快適性向上

洗面ゾーンとスタイリングコーナー（パウダーコーナー）を明確に分けることで混雑を緩和し、落ち着いて身だしなみを整えやすくなります。

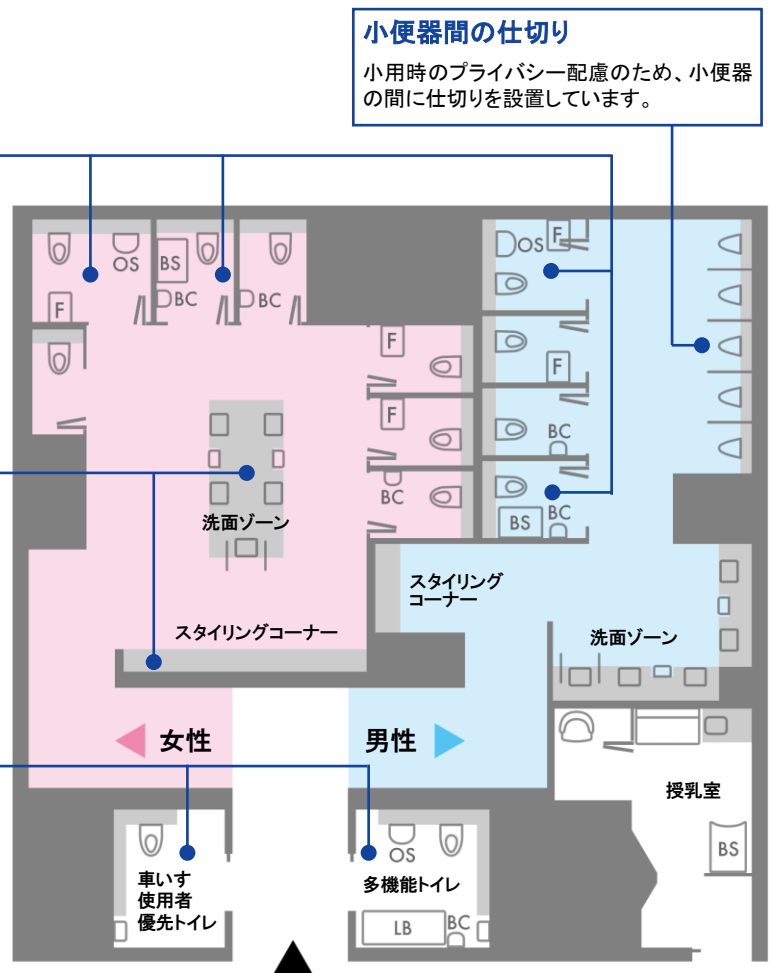
車いす使用者優先トイレと多機能トイレを設置

トイレ入口の両脇に、車いす使用者優先トイレと多機能トイレを設置しています。異性介助など、性別に関わらず使用しやすい男女共用トイレです。

小便器間の仕切り

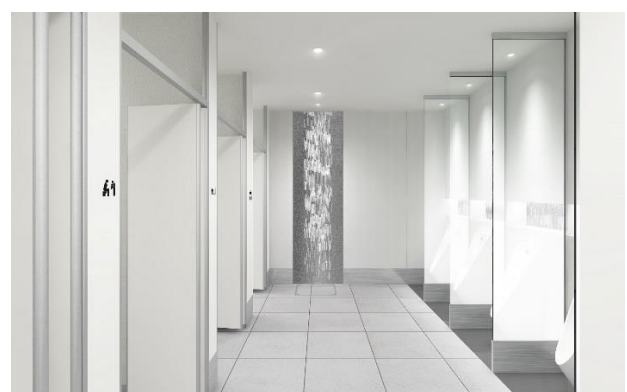
小用時のプライバシー配慮のため、小便器の間に仕切りを設置しています。

凡例
BC=ベビーチェア BS=ベビーシート
OS=オストメイト対応器具 LB=大型ベッド
F=フィッティングボード



女性トイレ ※イメージ

洗面は見通しのきくアイランド型とし、別途スタイリングコーナーを設けることで、混雑緩和を図ります。



男性トイレ ※イメージ

小用時のプライバシー配慮のため、小便器の間に仕切りを設置。ベビーシートを設置した大便器ブースを男性トイレにも設置します。

最新のパブリックトイレ商品群

2018年2月より展開しているパブリック商品の新コンセプト、「PUBLIC RESTROOM ITEMS」の商品群から、最新鋭のトイレ機器を導入します。



＜大便器＞ 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式

凹凸をなくし、すっきりとしたシルエットの大便器。新洗浄システム「フラッシュタンク式」の採用により、タンク式と同じ給水口径(15A)でフラッシュバルブ式と同等の連続洗浄が可能です。



＜温水洗浄便座＞ ウォッシュレット アプリコットP

凹凸や段差を極力なくした“ノイズレスデザイン”。TOTO 独自の「きれい除菌水」を自動に吹きかけて、便器ボウル面やウォッシュレットのノズルの見えない汚れや菌を除菌し、汚れを抑制します。



＜小便器＞ マイクロ波センサー壁掛小便器セット

小便器の最上位モデル。近づきやすいシンプルなデザイン、平均洗浄水量 0.8L の超節水に加えて、人が近づいて小便器の前で立ち止まると尿はねしにくいポイントに青色 LED のターゲットマークを照射。



＜洗面器＞ ツインデッキカウンター(ボウル一体タイプ)

上下 2 段のカウンターで水はねしにくいドライエリアを設け、荷物の置き場所に配慮。1600mm 幅のカウンターに 3 つボウルが設置できる機能的なカウンターです。



＜多機能トイレ＞

RESTROOM ITEM 01

フラットカウンター多機能トイレパック

高さ 750mm で統一された L 字型カウンターに各器具を組み込むことで、空間の統一感と使いやすさを両立しています。

上質な空間を演出する大型陶板「ハイドロソリッド」

先進的な意匠性に加えて、TOTO 独自の光触媒技術「ハイドロテクト」による抗菌・抗ウイルスなどの機能を兼ね備えた大型陶板「ハイドロソリッド」を内壁材として全面的に使用しています。

アクセントとなる部分には、「experience TOTO」のデザインコンセプトにあわせ、さざなみ立った水面を表現したオリジナル柄を使用します。



ハイドロソリッドの「MUKU」を壁面に全面的に採用

「experience TOTO」の通路部分 ※イメージ

アクセントとなる部分には、「experience TOTO」オリジナル柄を施したハイドロソリッドを使用

TOTOグローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

私たちTOTOグループは、水まわりから環境に貢献するために、「グローバル環境ビジョン」を掲げ、節水や省エネなどさまざまな取り組みを続けています。環境にやさしいものづくりを行い、きれいで快適な暮らしを世界に届け、人とのつながりを大切に活動してまいります。水と地球の、あしたのために。これからも、持続可能な社会を目指して、TOTOグループ全員の力で、実現していきます。

[URL] <https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm>

